

第7回 岡崎市スポーツ推進計画策定委員会 議事録

日 時：令和3年 6月23日（水） 14：00～15：30

場 所：岡崎市役所 東庁舎 2階大会議室

出席者：（委 員）堀越哲美委員（会長）、上原三十三委員、三井政昭委員、杉山まゆみ委員、
土赤光宏委員

（事務局）社会文化部 手嶋部長

スポーツ振興課 山田課長、高木副課長、富田係長、波田野主査
一般社団法人地域問題研究所 春日、押谷、林

資 料：次第

資料1 アンケート調査結果

資料2 論点ごとの現状・課題

資料3 岡崎市におけるスポーツ施設の将来像・基本方針・市の役割

1. あいさつ

- 山田課長 ・第2期スポーツ推進計画の個別計画である岡崎市スポーツ施設配置整備方針の中間見直しについて今年度策定予定である。委員の皆様につきましては今年度も引き続きよろしくご審議いただきたい。
- ・今年度はスポーツ振興課山田、係長富田、係員波田野が事務局として進めていく。
- 堀越会長 ・スポーツ推進計画を策定したが、今回はスポーツ施設の整備方針を具体的に考えていく。どのように進めていくべきか皆さんの知恵を拝借したい。
- 手嶋部長 ・第2期のスポーツ推進計画における基本施策の第1弾として、本市出身のアスリートの発掘・育成・支援を進めるため「岡崎アスリート支援事業」というものが5月にスタートし、これから重点支援をするアスリートを登録し、応援していく。支援の第1弾として三菱自動車岡崎の野球部と協定を結び、中央総合公園野球場を拠点として練習を行い、練習風景等を今後公開するという話も出ており、市民の方の身近な地元チームということでスポーツ振興につなげていければと思う。
- ・オリンピック選手に選ばれているバレーボールの石川祐希キャプテンの他、本市で5人ほどオリ・パラ候補選手がいるため、市としても応援企画を検討している。パブリックビューイングはなくなったが、市民の応援の声が選手に届くような企画を考えている。
- ・スポーツ施設配置整備方針の見直し時期が来ている。アンケート結果を分析しながら皆さんの意見を反映し、検討していきたい。ご協力をお願いします。
- 山田課長 ・この委員会は原則公開となっているが、本日、傍聴人はいない。

- ・この先は会長に議事進行をお願いする。

2. 議事

審議事項1 アンケート調査結果について

(1) アンケート調査の結果

- ・事務局より資料1「アンケート調査結果」を説明。

杉山委員 ・今回のアンケート結果について新型コロナの影響はあるか。

事務局 ・調査期間には緊急事態宣言は解除されていたが、地域のスポーツ活動が停止する中での回答になるため、「図9. スポーツを主に誰と実施するか」の回答では「ひとり」が最も多いなど少人数化している傾向があり、新型コロナで仲間と集まらない状況が少なからず影響していると感じる。

杉山委員 ・これまで推進委員として生涯スポーツの推進に取り組んできた結果が今回のデータに表れてなく、残念な印象を受けた。コロナ禍という状況が影響したのではないかと思う。「図18. 充実させるべき施設」の推進委員の回答では「体育館の整備」が多くなっており、複数人でスポーツをやりたくても体育館の施設数や利用時間、利用条件などが原因でやれない状況があるため、個人で気軽に行える健康づくりが多くなっているのではと感じた。

堀越会長 ・「図12. 現在より多く実施するために必要なこと」の推進委員の回答では「仲間づくりができる」「サークル等に参加しやすい」が高くなっており、新型コロナの影響がこのあたりにも表れていると考えられ、このような状況下において実施された結果ということは受け止めておくことが重要であろう。

土赤委員 ・アンケート結果を見ての感想としては、個人がスポーツをどう行っているかという解釈で結果が出ており、施設の利用状況に対する調査であれば、また違った結果になるのではないかという印象を受けた。このアンケート結果と実際の施設利用状況についてはギャップがあるように感じる。

上原委員 ・現代のスポーツの行われ方には多様性があるため、個人での実施が多いのであればそういった面も充実させていく必要があると感じる一方で、仲間づくりを大切にしている人も決して少なくはなく、引き続き対応していくべきことだと思う。スポーツの形態が変わっていったとしても仲間づくりについての取組は今後も必要と感じる。

三井委員 ・スポーツをする曜日、時間帯について、性別年齢別で傾向が分かるかと思っていたが、あまりそういった傾向がみられない結果が意外であった。性別や年齢に問わず、健康体力づくりに対し皆さんが工夫して取り組んでいることがわかり安心した。今後も健康・体力づくりは増えてくると期待する。

上原委員 ・「図15. 当該地区の住民による施設配置の評価」について、地区ごとに多い少ないが分かれているが、これは市民の行きやすさに関係していると感じる。車で遠くのスポーツ施設へ行くというより、多くの人は思いついた時に身近な場所でスポーツを行う人が多いのではないかと感じる。中央や北部は住宅地が多いため、近隣の体育

- 館に人が集まりやすく、だからこそ足りないと感じているのではないかと思う。
- ・「図 1. スポーツを「すること」が好きか」では「嫌い」「どちらかという嫌い」「どちらともいえない」が約 3 割を占めており、これについて何とかする必要はある。重い腰を上げさせるためには身近に利用できる場が重要であると考え。
- 三井委員
- ・「図 16. 施設の利用に対して求めるもの」では駐車場や利用料金といったスポーツを行う以前の部分についての数値が高くなっている。多くの市民が気軽にスポーツに親しむためにも、駐車場や利用料金といった面について、施設を提供する側が整えていく必要がある。
- 杉山委員
- ・利用料金に関して、「図 21. 維持管理費の利用者負担に関する考え」では、市民と推進委員ともに「やむを得ないが最小限にとどめる」の回答が最多となっている。特に大きな体育館でのスポーツ実施においては、費用負担が多少かかるとしても、利用者の熱中症対策としてエアコン設備の設置を検討していただきたい。
- 堀越会長
- ・「図 7. 実施している競技・種目」や「図 9. 主に誰と実施するか」は複数回答であり、上位の項目を選択した人が他にどういう選択肢と複合して回答しているかが分かると、違った見え方になってくるので、データ整理をお願いしたい。
- 三井委員
- ・「図 14. 箇所数の充実度×満足度」ではマレットゴルフ場が充実度・満足度ともに高くなっているが、これはなぜか？
- 事務局
- ・マレットゴルフなどについては競技実施者が限られるため、「どちらともいえない・わからない」の回答が多くなり、少ない回答の中でよい評価になってしまっていると考えられる。今回のご指摘をふまえて、「どちらともいえない・わからない」の状況を勘案した結果での評価の整理を行ってみる。
- 堀越会長
- ・自分が行っていないスポーツに関しては「ふつう」と答える人も多い。
 - ・結果についてはさらなる整理を進めていただくようお願いする。

審議事項 2 岡崎市スポーツ施設配置整備方針の中間見直しについて

(1) 岡崎市におけるスポーツ施設の将来像・基本方針・市の役割

- ・事務局より資料 2「論点ごとの現況・課題」、資料 3「岡崎市におけるスポーツ施設の将来像と基本方針」を説明。
- 三井委員
- ・施設については老朽化の問題が一番大きい。特に 30 年を過ぎている施設の数がとても多い。整備の優先順位の判断については、事故を未然に防げるよう、安全面に問題があるものは最優先として整備を考えていただきたい。
- 土赤委員
- ・市民の立場で考えると、現状では体育館は土日利用には大きな大会が優先されている。様々な競技団体が大会を開催する中で、大会開催できる施設が 2 つしかないため、多くの大会がうまく開催できるような体育館を作っただけだと良い。それに加えて市民プールができると、市民としてはありがたい。
- 杉山委員
- ・論点 5 ではスポーツ施設の稼働率が高くなっているが、論点 4 ではスポーツ施設の利用者自体は減少傾向にある。これはどういうことか。
- 事務局
- ・市内施設全体で見ると利用件数は減少しているが、施設を個別に見ていくと稼働

率が高くなっているものも多いという状況である。

- 杉山委員
- ・ 体育館については、一部の地区で施設が少ないという苦情が今でも届いている。一部では営利を目的とした活動団体が利用しているという話も聞いている。営利目的として活動している団体に公共施設を使われてしまうとパンク状態に陥るため、そうした団体には民間施設の利用を促すなど平準化が必要だと考える。
 - ・ 中央は人口が多いため、稼働率が高くなるのは納得の結果ではある。
 - ・ 推進委員としてスポーツ振興を進めても、施設が空いていないためにやりたくてもやれないという問い合わせが多く寄せられている。
- 堀越会長
- ・ 稼働率が高くなっている施設については、属性などから稼働率が高い要因を分析する必要がある。
- 上原委員
- ・ 人口当たりで見ても他市と比べても体育館は少なく、個人利用が増えてくるとさらに厳しくなると考える。
 - ・ 個人利用と団体利用ではどのような体育館の使われ方があるのか。その内容によっては将来的には大規模施設より小規模施設が求められるのではないか。
- 事務局
- ・ 体育館の全面を使う予約が入っていない場合に、事務局側でその日は1回200円の個人利用の枠として全面の開放を行っている。
- 堀越会長
- ・ 老朽化について、定期的な点検の実施とあるが、法定耐用年数に近い45年を超えるものについては、臨時的な点検を実施することはできないか。
- 事務局
- ・ 躯体は80年を耐用年数と考えており、内部の天井や床については計画的に整備を行う必要があると考えるが、金額が大きくなるため、優先順位を定めたいと考えている。
- 堀越会長
- ・ 優先順位をつけるため、経過年数に応じて内装の点検を行っていく必要がある。
- 上原委員
- ・ 「げんき館」の利用意向が高いのはなぜか。
- 事務局
- ・ トレーニングジムやプール、フットサル、テニスなど様々な種目が実施可能である点や、施設には子ども図書館なども入っており、子連れで利用しやすいという複合的な面が評価されていると考えられる。
- 上原委員
- ・ 施設自体は大きいものではないため、個人利用のニーズと関係があると感じた。
- 杉山委員
- ・ 体育館は本格的な運動施設という印象であるが、げんき館はどちらかと言えばレジャー施設に近い印象である。施設の中も明るく、コンパクトであるため利用しやすいのではないか。ただ、げんき館の駐車場は狭いという課題がある。
 - ・ 築年数が経過している施設は、建設当時には想定がなかった駐車場が狭い。推進委員としても駐車場がないと利用できない。アンケートにも表れているが、駐車場整備を検討いただくと利用しやすくなると思う。
- 三井委員
- ・ スポーツの多様化という面に関しては、自分たちのやりやすいものを行っている印象がある。このアンケートに出てきているようなスポーツ施設ではなく、公民館や市民ホームなどの施設が結構利用されている。こどもの家などはママさんバレーがびっしり入っている。公民館では自分の道場のように空手を行っている場面もみられるので、このあたりの公共施設のスポーツ利用を取り込んでも良いの

ではないか。岡崎は公民館や市民ホームが充実しているので、そういったものを取り込めると、スポーツを行える場所があると感じる。

- 事務局 ・整備方針の中では、小学校区レベルにある地区施設等というものの中で、公民館や市民ホームなどを含んだ計画を考えていきたい。
- 杉山委員 ・体育館などは夜9時までだが、こどもの家は10時まで利用でき、体育館より1時間長く利用できる点が魅力となっている。体育館も夜10時まで使えるようにして欲しいという声も多い。
- 堀越会長 ・他にご意見が無いようであれば、基本方針の全体を通して、アンケート結果も含めてご意見をいただきたい。
- 杉山委員 ・本題から外れるかもしれないが、学校開放施設の利用にあたって、推進委員の意向に沿って利用できる施設もあれば、学校によっては一切利用ができない施設もある。それぞれの学校の方針もあると思うが、学校施設は市民のために開放しているものではないのか。
- 事務局 ・市民のために開放しているものではあるが、原則としては学校の施設をお借りする立場であり、学校側で空いているところを開放してもらっている状況である。
- 杉山委員 ・名前は言えないが、空いているのに利用ができない学校があるという話が役員会で挙がっていた。市民の為にも公平性を持ってお貸し頂けるとありがたい。
- 事務局 ・できる限り開放してもらえよう協力をお願いしていく。

3. その他

(1) 次回の日程

- 事務局 ・次回の委員会は8月中旬から下旬の開催を予定している。

4. 閉会

(15時30分 閉会)